

語学  
講座から お い かん こく あじ  
『辛くて美味しい韓国』を味わいましょう

「ハングル(韓国・朝鮮語)講座(10月開講・現在募集中)」 講師 李泰文先生(慶應義塾大学講師)



子供のころ、毎日のように、近所の辛口のおばさんが、無礼な若者を怒鳴りながら説教をしていました。しかし、その説教は、本当の愛情というか優しい思いやりだったのではないかと思います。昨今、対人関係が苦手な人が増え、そしてコミュニケーション自体も減ってしまった気がしています。その中で、外国の社会や文化に興味を持つことは、ある意味勇気のある選択で、異文化の理解につながる意味のあるスタートです。

韓国は「辛い国」でよく知られていますが、その文化は「辛い」だけではありません。韓流ドラマや音楽などから感じられるストレートな喜怒哀樂の表現は、韓国人の民族性であり、涙も多い人情の表れです。

韓国語は、日本語の語順・文法とほとんど同じなので、日本人にとって比較的簡単にマスターできる言語だと言われています。今回のハングル講座で、私は20年間の教育現場での経験を生かし、学びやすいだけではなく、受講生の皆さんのが眞の韓国社会を理解できるようなレッスンにし、韓国語の新しい楽しみを分かち合いたいと思っています。それが「辛くて美味しい韓国」を味わう道ですから。皆さん、よろしくお願ひいたします。

たぶん かこう さてん  
多文化交差点⑦ [交流編]たぶん かこう さてん  
まさしく多文化交差点!いんたーなしおなる ふえすていばる かわさき  
~2011インターナショナル・フェスティバルinカワサキ~

エジプト大使



7月3日、快晴の日曜日、「2011インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」が開催されました。今年もたくさんの来場者(15,000人)と、24ヶ国からの参加者(出店・出展・発表者101団体、826人)で大盛況でした。



キルギス大使



タンザニア大使

開会式には、阿部市長、大島市議会議長をはじめ、4ヶ国(エジプト・アラブ大使館、キルギス共和国大使館、タンザニア連合共和国大使館、エチオピア連邦民主共和国大使館)の特命全権大使が参加されました。各大使はそれぞれ、東日本大震災に関するお見舞いと各国の支援内容、川崎市内の関係団体との国際交流や、本フェスティバルに関するスピーチをされ、式後はイベントを楽しまれました。



エチオピア大使

フェスティバルでは、様々な国の音楽や踊り、料理、物産、文化体験やゲーム遊びが、センター内のいたるところで1日中開催されていて、どこに行こうか迷うほどでした。そして、フェスティバル全体が、日本人と外国人市民、来場者や当日のボランティア、参加者と主催者全員で作る、数え切れないほどの「多文化交差点」が出現しました。それはある意味煩雑で、また、それぞれの国や文化の元気なエネルギーであふれており、それこそ世界や社会の縮図のようでした。これからも当センターは、このような国際交流の拠点になり、さまざまな人たちがつながるきっかけづくりができるような場を提供していきます。

